



10月の園だより

学校法人志賀学園

松の実こども園

令和2年10月1日

今年も厳しい残暑が続きました。「暑さ寒さも彼岸まで」と言われる通り、朝晩めっきり涼しくなり秋らしい季節となりました。そのためか、風邪を引いてお休みするお子さんも出始めました。新型コロナウイルス対策は勿論のこと健康管理には気を付けて過ごしていきましょう。

さて、運動会を間近に控え、子どもたちは日頃から園庭で元気に遊んだり、かけっこや体操に取り組んでいましたので、全身を使って活動することに大きな喜びを感じています。今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため各学年ごとの開催となります。ばら組さんは初めての運動会ということで、可愛く元気な姿を、かけっこやダンスで見せてくれることでしょう。すみれ組さんは、ばら組での経験を生かして競争心を持ってかけっこをしたり、色とりどりのポンポンで隊形移動をしながら生き生きとダンスを踊り、張り切って発表してくれることでしょう。そして、どちらも親子ダンスを楽しみにしています。

さくら組さんは、かけっこやリレー、鼓隊やパラバルーン、組立体操とひと通りの種目を発表します。特に、組立体操は密を避けるため、今年度はピラミッドや一本橋は行いません。代わりに、この時期では初めての跳び箱を披露します。体操教室の夏堀先生曰く、跳び箱は自分で目標を立てて、個人の成功体験（達成感）が得られ、とても良い教材だということです。そして、跳び箱を通して挫折や失敗、恐怖心に打ち勝つ子に育って欲しいという思いで取り入れてみました。今回は初めての試みですので、7月からホールの床に手を着いてジャンプして進んでいく“チーター跳び”という体重移動の練習をして、8月から跳び箱を使って取り組みました。子どもたちはお尻がぶつかって痛くても飛べるようになりたい一心で、意欲的に一段また一段と目標を立て、高く飛べるようになっていきました。運動会が終わってからも、卒園までにまた自分なりに目標を持って挑戦していけたらと思います。組立体操に取り組んでいく中では常々、誰かのために頑張れる人になれるよう、「人の為に①素早く動く ②我慢する ③大きな声を出す ④姿勢（気をつけをする）」以上4つのことを伝えながら練習しています。どの種目も1つのものを皆で心と力を合わせて取り組んできました。全学年、当日は、これまでのこども園生活での運動遊びの成果を発揮してくれることでしょう。

もも・たんぽぽ・ちゅうりっぷ組さんは、今年度は、平日に先生と子どもたちで、かけっこや玉入れ、お菓子取り競争やダンスなどをして、運動会ごっこを行います。園生活にも慣れ、園庭やお部屋で体を動かす喜びを満喫している子どもたちですので、ご褒美のメダルで表彰したり運動会の気分を味わいながら過ごしていきたいと思います。お楽しみに。